

平成22年6月22日(4)

開議 10時41分

○議長 秋成茂信君

皆さん、おはようございます。

只今の出席議員は17名であります。それでは、これより本日の会議を開きます。

議事に入る前に、先日の一般質問の中での執行部の答弁に対し、釈明したいとの申し出がありましたので発言を許します。教育課長。

○教育課長 戸成保道君

先日の6月15日の渡邊議員の質問の中に、人件費の問題が出まして、私の答弁の中で1つ誤りがありましたので、全体の人件費としては言えますが、個々の個人につきましては、よく調べて検討させて頂きたいと思っております。以上です。

○議長 秋成茂信君

それでよろしゅうございましょうか。

(「はい」の声あり)

日程第1 議案第42号から日程第8 議案第49号までを一括議題といたします。

各委員長から、付託案件に対する審査の経過並びに結果の報告を求めます。

最初に、産業建設委員長、お願いいたします。

○7番 山崎廣美君

おはようございます。産業建設委員会から報告をいたします。

去る6月16日、15時から全員出席のもとで、議案第48号 平成22年度の豊前市一般会計補正予算(第1号)を審議いたしました。その内容について、ご報告いたします。

林業振興費250万円、これは山村振興のPR推進事業の委託料。それから、観光費130万円、キャンプ場の補修費。それから、観光ルートマップ作成事業233万4000円。土木費790万円、これは、二葉地区の排水計画の委託料ということで、全員賛成で可決いたしました。以上で報告を終わります。

○議長 秋成茂信君

次に、文教厚生委員長。

○4番 榎本義憲君

皆さんおはようございます。文教厚生委員会の報告をさせていただきます。

去る6月17日、全委員出席のもと、文教厚生委員会を開催いたしました。

委員会に付託された議案は、議案第43号、議案第44号、議案第47号、議案第48号の4議案でした。いずれの議案においても、慎重に審査した結果、全会一致で可決されました。以上、報告を終わります。

○議長 秋成茂信君

次に、総務委員長。

○17番 吉永宗彦君

おはようございます。総務委員会から審議の経過と結果について、ご報告いたします。委員会は、本会議から付託されました全議案について、6月18日、全委員出席のもとに慎重審議いたしましたので、そのことについて、ご報告いたします。

議案第42号 豊前市税条例の一部改正であります。本案は、固定資産税率を23年4月1日から現行の100分の1.6%を100分の1.5%に引き下げるとするものであります。提案理由は、近郊自治体との税率格差の縮小、市民の税負担の軽減となっております。更に、説明で、税率0.1%の引き下げに伴う23年度以降の本税の減収見込額は、年間1億1500万円となる。税収分については、職員数の削減を中心に補填していくなどの説明を受けました。

委員会は、委員のみによる自由討議を設けて、各般にわたり慎重審議の後、執行部との質疑・討論を重ね採決を行いました。採決の結果は、賛成多数で可決・承認であります。

議案第45号 豊前市消防団条例の一部改正についてであります。

本案は、消防団員の年齢要件を、現行60歳から65歳まで延長しようとする案件であります。慎重審議の結果、全会一致で継続審査することに決定しました。

議案第46号 専決処分 市税条例の一部改正についてであります。地方税法の改正に伴う市税条例の改正であり、全会一致で可決いたしました。

議案第48号 平成22年度豊前市一般会計補正予算(第1号) 歳入補正額2500万円、総務委員会関係、歳出183万9000円について慎重審議いたし、全会一致で可決いたしました。

議案第49号 専決処分 平成22年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)であります。慎重審議の結果、全会一致で承認・可決いたしました。以上です。

○議長 秋成茂信君

以上で、委員長報告を終わります。

委員長報告に対する質疑に入ります。質疑の方はありませんか。尾家議員。

3回で10分間です。

○15番 尾家啓介君

総務委員長に、お尋ねいたします。議案第42号についてであります。豊前市の財政収入は、世の中の情勢によって大きく増減する。豊前市の市税とか、国からの交付金、また世の中の情勢によって、大きく増減する性質を持っていますが、ここで1億1500万円の財源を要する税制改革について、長期安定的な財源があるのかについて、討議をなされたかどうか、お答えを頂きます。

○議長 秋成茂信君

・永議員。

○17番 吉永宗彦君

壇上から報告いたしましたように、この税率の引き下げに伴う減収見込額は、23年度以降、各年度1億1500万円、先ほどご報告いたしました。財源として、安定的な見通しがあるかないかについて、このことにふれましても、壇上から、今回、提案の主要な減収分の補填は、職員数の削減を引き続き進めていくことについて補填が可能である。

そして、将来的に、例えば26年度を目処としても、人件費等の職員数との意味合いで、この1億1500万円の補填は、いずれの時期かに解消していくという見解でありました。自由討議の中で十分議論させて頂いて、いずれにいたしましても、安定的財源は、将来的にも確保の見通しは非常に困難な状況にありますだけに、この職員数の削減を中心的に考えるということではなしに、行政全般の隅から隅までの経費節減に向けて努力することが肝要であろうと。そのことによって、住民サービスの低下を防ぐという方法をとってほしいという議論の中から、執行部としては、来る9月議会までに、豊前市全般の節約をし、減収財源を補填する意味で、全体的な節減対策を計画し、9月議会に報告するという事になっております。

勿論、その他にも、市税のうち、固定資産税等の滞納額は相当額であります。それについての徴収努力をしてくれておきましょうけれども、実績がなかなか見えてこない。近隣各市と比較しても徴収率の低さは、やはり内部努力をする必要があろうなどの議論がありました。以上です。

○議長 秋成茂信君

尾家議員。

○15番 尾家啓介君

今からの努力目標の計画を9月に発表して頂けるということは了解いたしました。第2点は、人口について、お尋ねいたします。市の人口は、一般企業で言う売上げ成長力を表す1つの大きな指標だと思っておりますが、豊前市の人口は、これは国調のあれですが、昭和35年10月では3万4818人。それから、ずっと豊前市の人口は漸減して行って、平成20年6月は2万7756人、20%以上減っているわけです。

周辺の格差ということですが、行橋市の人口は、昭和35年10月1日は4万7188人。平成22年6月の人口は7万2091人で、2万5000人増えています。要するに、築上町と吉富町を合わせた分だけ、人口が行橋市は増えている。だから当然、行橋市は、その中で財政計画、職員の採用計画を作っていると思う。

豊前市の場合は、人間がずっと減ってきておるから、職員が減っても、がたいにあった職員数にあってきとる。しかも豊前市が持っている市の債権、これは平均据え置き期間を入れると約30年。だから今、豊前市が抱えている120何億円の公債残は、日本国が一番景気が悪くなるバブルが飛んで、橋本内閣と日本国が破綻寸前まで追い込まれる時期に発行した市債の償還を、要するに、人口がずっと減ってきた、その状態で返していかんかん。償還していかんならん。そういうのが、今から豊前市の財政にかかってくると思う

けれど、その辺について討議がありましたでしょうか。

○議長 秋成茂信君

・永議員。

○17番 吉永宗彦君

人口と税率の関係についての質問なり、詳細な討議はしておりません。周辺自治体との格差の縮小という意味は、税率そのもののことでありまして、県下、大多数の自治体で100分の1.4、そして都市部で100分の6前後ということ、そして、それらは豊前市が、そういう意味では高い率になっておりますので、町村合併などのときに、そのことが障害になって最後の段階でお話が崩れるなど、弊害もあったということの議論をいたしました。人口との関係については議論しておりません。

○議長 秋成茂信君

尾家議員。

○15番 尾家啓介君

最後に、豊前市の財政には、大きな欠点が沢山あるんですが、その中でも大きなやつを2つあげますと、京築水道企業団の責任水量と、アロケーションの問題が、豊前市の財政の将来に、ものすごく大きい問題を抱えている。それについて、この議会でも、何回も執行部とのやり取りがありますが、執行部は、その重要性は認識しているけれど、実行に移すだけの力がないのか、情勢が悪いのか、一向に進んでおりません。

また、豊前市の下水道特別会計についても、財政の足を引っ張る非常に大きな問題点を含んでいますが、この2点について討議があったかどうか、ご説明をお願いします。

○議長 秋成茂信君

・永議員。

○17番 吉永宗彦君

只今2点の質問がありましたけれども、総務委員会は、この税率の引き下げが、将来的に大変大事な問題であるということで、自由討議の時間をかなりとりまして議論しまして、つまり税率引き下げについての意見交換が集中しておりました。

水道企業団の問題につきましては、この議会、私の質問にも市長自身が、5月半ばごろでしたか、運営協議会でお話が端緒に付いたという報告を受けておりますし、企業団その他の課題については、本委員会の直接、付託案件ではありませんので議論しておりません。

○議長 秋成茂信君

これをもって質疑を終わります。

討論に入ります。討論の方ありませんか。榎本議員。

○4番 榎本義憲君

私は議案第42号の件について、反対の立場で討論をさせていただきます。

基本的には、税率を100分の1.6から1.5に下げることについては賛成ですが、た

だ、やり方が、一律に100分の1.5にすることに問題があるというふうに思います。

今日、厳しい状況の中で、少子化対策、或いは、社会の人口増を目指しても、先ほど尾家議員が言われたような問題が沢山あります。このような中で、一律に税率を下げってしまうということは、1億1500万円の減収になるわけですが、そういったやり方じゃなくて、不均一課税、或いは、都市計画税を導入することによって、少しでも減収を抑えていくという政策を取るべきだと思います。

というのが、豊前市は大きい範囲の広い市です。町部分の用途地域の中で、公共下水道や街路事業、そして区画整理事業を行っている地域と、全く施策が施されていない地域があります。そういう地域と同じ条件で税率を下げていくということには、極めて私は問題があると思います。

都市計画税、先ほど言いました不均一課税を導入することによって、税率にある程度の差をつけることが重要だと考えます。この機会に一律に下げたしまえば、安易に下げたことは、二度と元には戻れない。先で都市計画税を取る、或いは、不均一課税をするということには、極めて問題があるという立場ですので、反対意見を述べさせていただきます。

以上です。

○議長 秋成茂信君

他にありませんか。尾家議員。

○15番 尾家啓介君

私は、42号議案は、時期尚早だという立場で反対をいたします。先ほどから総務委員長の報告をお聞きしましたが、要するに1億1500万円を財政から減少させる、それだけの手当てが十分になってない。今から考えると。すると、豊前市の財政の欠点であるいろいろな問題も今からやるんだと。やっちゃってから、そういうことをすればいい。

東京の杉並区に減税自治体というのがあります。要するに減税する目標で、いろんな目標を作り、それをクリアさせて、その時点で減税していくと。だから減税するために、3年なら3年の目標を作って、それを1段階、1段階クリアしながら減税できるんだと。

そういう杉並方式の減税自治体を作るべきだと私は思っております。

以上、反対討論を終わります。

○議長 秋成茂信君

他にありませんか。

(「なし」の声あり)

これをもって討論を終わります。

これより採決に入ります。

日程第1 議案第42号の採決をいたします。

本案についての委員長報告は可決であります。

本案を委員長報告のとおり決することに賛成議員の起立をお願いいたします。

(起立)

起立多数であります。よって、議案第42号は原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第43号及び日程第3 議案第44号を一括採決いたします。
各議案に対する委員長報告はいずれも可決であります。

本案2件を委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本案2件は原案のとおり可決されました。

日程第4 議案第45号の採決をいたします。

本案に対する委員長報告は継続審査であります。

本案を委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって、本案は継続審査に付することに決しました。

日程第5 議案第46号及び日程第6 議案第47号を一括採決いたします。
各議案に対する委員長報告はいずれも承認であります。

本件2件を委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって、本件2件は承認することに決しました。

日程第7 議案第48号を採決いたします。

本案に対する委員長報告は可決であります。

本案を委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第8 議案第49号を採決いたします。

本案に対する委員長報告は承認であります。

本案を委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決しました。

日程第9 議案第50号を議題といたします。

議案に対する質疑に入ります。今回、本案に対する質疑の通告はありません。よって、これをもって質疑を終わります。

討論に入ります。討論の方はありませんか。

(「なし」の声あり)

これをもって討論を終わります。

これより採決に入ります。

日程第9 議案第50号の採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第10 意見書案第1号を議題といたします。

関係委員長の報告を求めます。・永委員長、お願いいたします。

○17番 吉永宗彦君

意見書案第1号 前回から継続審査となっておりますが、総務委員会で審査をいたしました。本案につきましては、採決の結果、賛成多数をもって可決いたしました。

以上です。

○議長 秋成茂信君

委員長報告は終わりました。

委員長報告に対する質疑に入ります。質疑の方はありますか。

(「なし」の声あり)

これをもって質疑を終わります。

討論に入ります。討論の方はありますか。

(「なし」の声あり)

これをもって討論を終わります。

これより採決に入ります。

日程第10 意見書案第1号を採決いたします。

本案についての委員長報告は可決であります。

本案を委員長報告のとおり決することに賛成議員の起立を求めます。

(起立)

起立多数であります。よって、意見書案第1号は原案のとおり可決されました。

日程第11 同意案第2号 豊前市固定資産評価員の選任について議題といたします。

(税務課長、退場)

市長に提案理由の説明を求めます。市長。

○市長 釜井健介君

同意案第2号は、豊前市固定資産評価員の選任についてであります。

4月の人事異動に伴い、税務課長を豊前市固定資産評価員として新たに選任することについて、地方税法第404条第2項の規定により、市議会の同意を求めるものであります。

選任しようとする者の氏名、住所、生年月日を申し上げます。

氏名 福丸和弘 住所 豊前市大字赤熊535番地の1

生年月日 昭和35年3月28日 50歳であります。

よろしくご同意くださいますようお願い申し上げます。

○議長 秋成茂信君

市長の説明は終わりました。

豊前市固定資産評価員の選任について、只今の市長説明のとおり、これに同意することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって、市長説明のとおり同意することに決しました。

(税務課長、入場)

日程第12 同意案第3号 豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について議題といたします。

市長より提案理由の説明を求めます。市長。

○市長 釜井健介君

同意案第3号は、豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任についてであります。豊前市固定資産評価審査委員会委員の1名の任期が満了となるため、固定資産評価審査委員会委員として選任することについて、地方税法第423条第3項の規定により、市議会の同意を求めるものであります。

選任する委員の氏名、住所、生年月日を申し上げます。

氏名 則行應史 住所 豊前市大字下川底456番地の1

生年月日 昭和19年2月11日 66歳であります。

よろしくご同意くださいますようお願い申し上げます。

○議長 秋成茂信君

市長の説明は終わりました。

豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任については、只今、市長説明のとおり同意することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって、市長説明のとおり同意することに決しました。

日程第13 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて議題といたします。

市長に提案理由の説明を求めます。市長。

○市長 釜井健介君

諮問第1号は、人権擁護委員の推薦について、意見を求める案件であります。人権擁護委員1名の辞任に伴い、法務大臣に対し候補者を推薦するため、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、市議会の意見を求めるものであります。

推薦する委員の氏名、住所、生年月日を申し上げます。

氏名 長谷山美都子 住所 豊前市大字下河内1857番地

生年月日 昭和24年9月2日 60歳であります。

よろしくご同意くださいますようお願い申し上げます。

○議長 秋成茂信君

市長の説明は終わりました。

諮問第1号については、只今、市長説明のとおり同意することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。よって、市長説明のとおり同意することに決しました。

以上をもって、今定例会の会議に付議されました案件はすべて終了いたしました。

よって、平成22年第2回豊前市議会定例会は、これをもって閉会いたします。

閉会にあたり、市長から発言を求められていますので、許可いたします。市長。

○市長 釜井健介君

平成22年第2回定例市議会を閉会するにあたり、一言お礼を申し上げます。

去る6月4日に開会されました、この度の定例市議会におきまして、議員皆様には、今後の市政運営に必要な重要案件について、本会議並びに各委員会を通じ慎重なご審議を賜り衷心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

お蔭をもちまして、今回の提出案件について、ご議決頂き誠にありがとうございました。なお、固定資産税引下げ案は、都市計画税を当面とりませんので、税金が高いという豊前市のイメージは、これで一掃できると思っております。これで都市間競争に勝つ主体的条件が揃ったと思っております。

ここに成立しました条例等につきましては、その施策を推進し、市政の一層の進展と、住民福祉の向上に寄与してまいり所存であります。なお、ご審議の間に議員皆様から賜りました貴重なご意見、ご提言等につきましては十分尊重し、行政の透明度を高めるとともに、今回のご指摘を真摯に受け止め、市政運営に細心の注意を払ってまいります。

これから、いよいよ暑さに向いますが、なにとぞ、ご健勝で市政運営に深いご理解と、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます、お礼の言葉いたします。ありがとうございました。

(拍手)

○議長 秋成茂信君

これにて今定例会を閉会いたします。

皆さん、お疲れ様でした。

閉会 11時15分